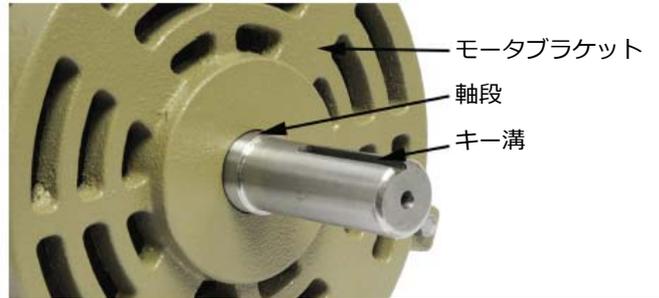
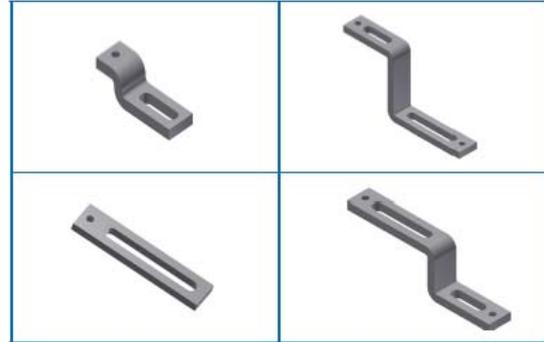


イージス SGR—uKit タイプ組込み手順書



ユニバーサルブラケット

4種類のブラケットで6通りの方法で取付けられます。



イージス SGR—uKit 同梱品

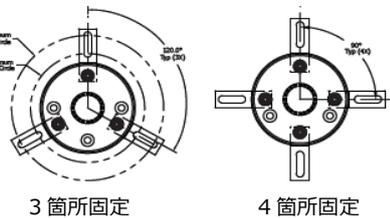
- (1) イージスリング本体
- (4) ユニバーサルブラケット(4種類各4pcs ずつ計16)
- (4) M4x10mm SHCS(ソケットヘッドボルト)
- (4) M4 スプリットロックワッシャ
- (4) M4 フラットワッシャ
- 5/64"レンチ、3mmレンチ

組込み用治具

- 3.3mm/#30ドリル
- M4 タップ
- 目の細かいサンドペーパー
- シルバーペイント CS015(別売・推奨品)
- 導電性エポキシによる固定はさらに簡単に組み込めます。(別売)

組込み手順

(1) [一体型の場合]リングは3カ所か4カ所固定できるようになっています。モータ状態に応じて最低3カ所固定します。

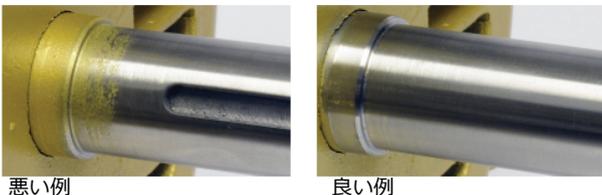


- (2) 4種類のブラケットの中から適当なものを選択します。
- (3) 5/64"レンチを使ってブラケットとイージスリングを固定させます。



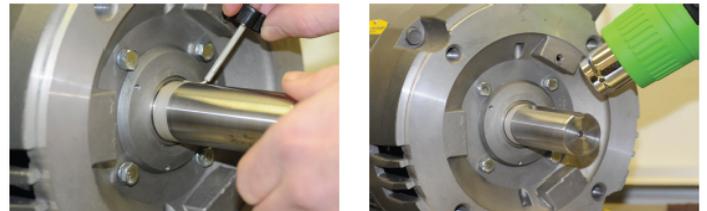
(4) 軸の準備

軸は必ず導通を阻害するような塗装や汚れを落として下さい。目の粗いサンドペーパーなどを使用すると綺麗に仕上げることができます。

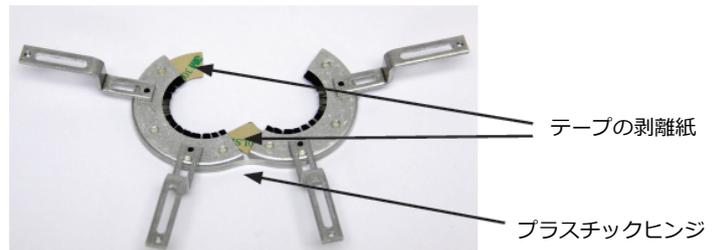


(5) イージスはキー溝上では取付けられません。もしキー溝がある部分でイージスを取付ける場合は、パテのようなもので溝を埋めてください。

(6) 軸の導電性を高めイージスリングの性能をより発揮させるために、軸塗布用シルバーペイント「CS015」を推奨します。(別売/iPRO リングの場合はリングに同梱されます) イージスリングのファイバが当たる軸上全周に塗布します。ヒートガンを使用することで乾燥させる時間を短縮できます。



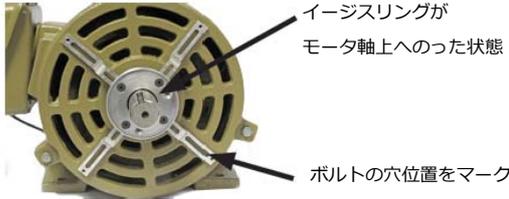
(7) [分割型の場合]プラスチックのヒンジが2つの半円を一体にしていますので、組み込むまでは取り外さないでください。



穴開けとタップ穴加工(ボルト固定)について

(1)ドリルの穴位置を決めます。

- a.一体型：軸にイーゼスリングを通します。軸にイーゼスのファイバが接触しているかを確認します。ボルトの穴位置をマークします。
- b.分割型：分割型のリングは2つの半円同士の間が約1mmあるため正円にするために同梱されているスペーサを使用して固定し、軸にリングを通し、軸にファイバが接触しているかを確認します。ボルトの穴位置をマークします。



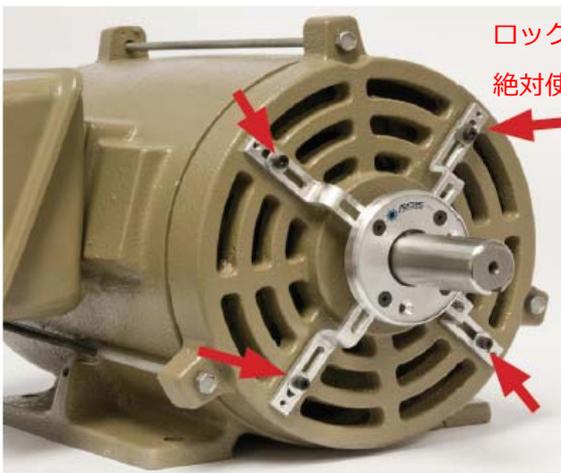
(2)ブラケット(脚)をモータブラケットへボルトを使って取付ける準備

- a.マークした3箇所か4箇所の位置で、3.3mm(#30)ドリルを使って、穴加工します。ベアリング位置まで掘らないよう注意して下さい。
- b.穴の深さは6mmです。
- c.タップはM4で各穴用意してください。

(3)uKitの取付け

- a.[一体型]uKitをM4ボルトとワッシャを使用して固定します。ボルトはアース経路のため、ロックタイトなどの絶縁物や電気を通さないボルトは絶対に使用しないでください。
- b.[分割型]剥離紙を剥がしてリングを開いて軸を通します。イーゼスリングが正円となるように、付属されているスペーサを使います。その後プラスチックヒンジで再度イーゼスリングを固定します。イーゼスリングが偏りなく固定されるように、全周で軸が約1mmのスペースが出来るか確認します。

モータへの取付けは同梱されているM4ボルト、スプリットワッシャ、平ワッシャを使用して固定します。このボルトはモータ筐体への重要な導通路ですので、ロックタイト®などは絶縁性のもので固定しないでください。イーゼスリングが固定できたら、スペーサを取り外して処分してください。



導電性エポキシによる取付けについて

(1)イーゼス導電性エポキシ EP2400 は別売です。

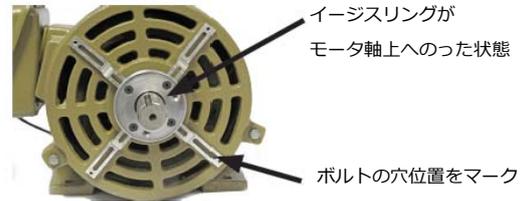
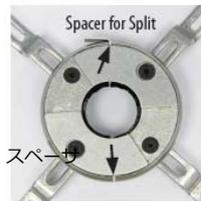
- (2)イーゼスリングを取付け、アルミニウムの筐体と軸が接触せず導電性マイクロファイバが導電性の軸表面に接触させます。エポキシでuKitを固定させるモータ筐体側の位置にマークします。
- (3)モータ側は、ブラケットを固定する部分が導通路になりますので必ず塗装等絶縁物質を取り除く必要があります。塗装を剥がして下さい。
- (4)導電性エポキシの取扱い説明書の通り準備してブラケットへ塗ります
- (5)uKitの取付け

- a.[一体型]イーゼスリングuKitを軸へ通します。エポキシが硬化するまでuKitブラケットを押えてください。通常室温で4時間程度で乾燥します。ヒートガンを使用すると10分程度で乾燥させられます。
- b.[分割型]軸とイーゼスリングのアルミ部分の内径が1mm程度の均一となっていることを確認します。リングを二分割に切断する際に失われた部分を補うために、付属のスペーサを使ってイーゼスリングが正円となるように2つの半円を合わせます。

リングをモータのブラケット(端面)へ押し付け導電性エポキシが乾くまで固定しておきます。イーゼスリングが正しく芯がとれているように、全周の軸との隙間が一定であることを確認してください。

導電性エポキシは常温で4時間程度、ヒートガンを使用することで10分程度で乾燥させることができます。

イーゼスリングが固定できたら、スペーサを取り外して処分してください。



- (6)組込みが完了したらテスタなどを使って導通が取れているかを確認します。片方のプローブをイーゼスリングのアルミニウム部に、もう片方をモータの筐体の塗装のない部分へ当てます。

注意 モータはグラウンドされていることは必須条件です。

